

大胆見解／この20年間で見える世界の潮流

1990年代

大航海時代からの世界の既得権益層の存在を認識するか？！
東西冷戦構造の終焉

超大国・米国の出現

旧ソ連・ロシアの影響力低下
中国本土台頭の兆候

ユニ・ラテラリズム的思想の拡大

グローバリゼーションの進展

世界標準化の動き拡大

言語＝英語
通貨＝米ドル
に加えて
法律＝英米法
会計基準＝米国会計基準
環境基準も含めた製造基準＝ISO
金融基準＝国際決済銀行の基準強化
が進展、
世界標準化の流れの中で世界の安定化推進

アジア通貨危機の発生

ロシア金融危機の発生

東アジアの世界標準化進展

世界の工場としてのアジアに対する期待拡大

人、もの、かね、情報の監視システム構築、強化
世界標準化の更なる確立に向けた動き
パスポートの電子化、貨物通関の電子化、
資金決済のモニタリング強化、E-Mailプロバイダの監視強化
宇宙衛星などを使った監視強化などなどを通じた監視システムの構築、強化

スタンダードの多様化を意識する勢力の動き

NGO/NPOのWTO活動に対する反対活動
そして、過激派のテロ活動拡大

世紀末を迎え、世界安定化に向けた動きの強化

世界を安定化する為には、

- (1) 唯一の強い勢力の存在とその他大勢
- (2) 拮抗された勢力の共存

しかない、

そして、世界のメジャーの潮流は**唯一の超勢力**を志向

寡占の超勢力 分野は、資源、エネルギー、食糧、水、そして金融。即ち、人々が生きていくために必要最低限な分野

超勢力

|

その他の一般勢力

2000年代

人が生きていく為に必要な分野の寡占化推進

- (1) 資源
- (2) エネルギー
- (3) 食糧
- (4) 水
- (5) 金融

の分野で活躍する企業のメジャー化推進

中国本土の更なる台頭

インドの出現と台頭

米国共和党・ブッシュ政権の出奔

エネルギーメジャー、資源メジャー、食糧メジャー、国際金融メジャーと米国政府の関係緊密化進展

発展する中国本土を意識、
米国の対中鉄くず輸出規制

大量生産・大量消費型ものづくり大国化した中国本土に対するダメージ

資源の山元権利確保に向けた世界的な動き拡大

ブラックホール・米国、大消費国・米国が世界のものとサービスを飲み込む
その対価として米ドルを世界に流出
基軸通貨・米ドルの威力発揮

反対勢力の台頭は見られるものの、
その一方で米国の世界に対する各分野での影響力は更に強化される

資源・エネルギー問題、そしてイスラム過激派の動き拡大に伴い
インド洋の地政学的重要性拡大

インドの世界的な重要性が高まる
インドの更なる発展
インドに対する米中露のアプローチ拡大
印僑の東アフリカ地域の商圈拡大
インドの相対的地位の向上に伴うパキスタンの重要性向上

中国本土の経済大国化顕在化

資源、エネルギー価格の上昇

ロシア経済の回復とロシアの復興兆候顕在化

中露印の連携強化

ハードの中国、ソフトのインド、資源エネルギーのロシア
龍と象と白熊の「敵の敵は味方」的戦略提携強化

イスラム系過激派勢力の根強い抵抗

イラク戦争を中心とする中近東問題の継続

反米的イランの台頭

世界的な米ドル資金余剰の顕在化
その一方で、資金運用先の限定化
世界の過剰資金は、
資源・エネルギー・食糧・金融商品に大挙流入
世界的なインフレ兆候拡大
ここで利益を確保した?! 各種メジャー勢力

統廃合の名の下に更に進む業界再編

反米的資源国家の経済的繁栄

中露印の世界的な業界再編に対する参入拡大
世界的M&Aに対する中露印の参画拡大
政府系ファンドの動き拡大

政府系ファンドに対する規制強化に向けた動き

欧州と米国の連携、サルコジ大統領、メルケル首相の誕生

中南米での反米勢力動向注目

世界経済の減速化兆候

米国経済の再活性化と庶民救済を意識した

サブ・プライム・ローンの仕掛け

真に一次的利益を上げた者は誰か？

証券化・小口化・流動化、そして格付けがサブ・プライム・ローンの利益の源泉
しかし、その余波・悪影響は予想以上に早く世界に拡散

参考：株式の乱高下に対する一つの見方：**歴史は繰り返す？！**

サブ・プライムローン問題で株式相場は乱高下しているようです。

10月13日の小戻しは世界的なエスタブリッシュメントの売り抜けを助けるために仕組んだとの見方があります。

1815年にネイサン・ロスチャイルドが「イギリス軍勝利の報で売り浴びせ暴落したところを買い戻して暴利を得た」ことは有名ですが、1世紀ぶりの乱高下は、大航海時代に財を成しワータロー勝利を利用したエスタブリッシュメント達の保全に利用されたのでしょうか？！

米国国内に見られ始めているユニ・ラテラリズムに対する批判

共和党勢力に対する反感・民主党勢力の拡大

そしてオバマ候補の出現

Changeは共和党政権が推進してきたユニ・ラテラリズムをも含めたChange？！

独特の動きを示す湾岸六カ国の動き
エネルギー基地・食糧基地として改めて注目されるアフリカ
アフリカに対するアプローチを強める中国本土・ロシア

G8に見られる体制議論

中露印は大消費国・米を軸とする世界経済システムの変化を要求
先ずは基軸通貨の弱体化

世界的なものやサービスの経済的価値判断基準となる基軸通貨・米ドルの使用範囲限定化推進
例えば原油価格の評価をユーロ建てに改変
ロシアはロシア原油、ロシアからの輸出建値のルーブル建て化す維新の動きを示す

D8は中露印をサポート？！

資源・エネルギー・食糧・金融分野で進められてきたメジャー化の流れは一旦サスペンドか？！
そうした意味で注目される米国大統領選挙の結果
そして、当選した大統領の政策姿勢

不安定な国際情勢
東南アジア・南アジアでの混沌拡大
朝鮮半島情勢の不穏化
極東でもにらみ合う、米中露
米国、北朝鮮に対するテロ支援国指定解除
米国、日本に対する原子力潜水艦配備
米国、台湾に対する武器供与の再確認
米国、韓国との合同軍事演習再強化
グルジアで仕掛けた共和党・マケイン候補？！
金融問題で仕掛け返したオバマ候補？！
リーマン破綻は大統領選挙の巻き添え？！
リーマン・モルガンスタンレー支援は奉加帳？！
公的資金導入を極力回避したい米国メジャー金融機関
怖いのは、公的機関の査察
過去に遡る検査により経済犯罪は立証されるか？！
立証されれば、大物の逮捕も？！
混乱の火種、鍵を握るは次期大統領？！
こうした国際情勢が日本政界にも影響を与える？！

どうなる日本の政局？

オバマ大統領となればどこまでChangeか？！

その際には、一旦、三番底？！

しかし、もしも過激な動きが回避されれば2010年から景気は回復か？！

マケイン大統領となれば、既存路線の継続、

その際には、既存路線を即時踏襲開始

よって2009年半ばから国際金融市場は回復、实体经济も時間差を経て年終盤には回復か？！

そして、オバマ大統領が圧勝の上、選出される。

議会選挙でも、オバマ大統領を擁する民主党が議席数を伸ばす。

公的資金投入を予定されている各金融機関に対して、これまでの業務に対する厳しい捜査のメスは入れられるか？

不安な金融界、市場は落ち着くか？不安が拡散するか？オバマ大統領と与党・民主党の政策スタンスに注目。

当面は誰を財務長官に置いてどのような金融政策を採るか？

そして、更に大切な視点は、オバマ大統領が、公約どおり、「唯一超勢力」志向ではなく、バランスを重んじる統治体制を採り、世界のシステムまで変革するBig Changeに動くのか？或いはもう一つのKey Wordである融和=Compromiseを尊重し、Minor Changeに留まるのか？が注目される。

まずは、基軸通貨の動きに注目しよう！！

オバマ大統領はいつまで大統領？

四年後、民主党はヒラリー・クリントン氏を推挙？

日本がとるべき方向性は？

少数精鋭の、一連のものづくり大国化
ものづくりには農林水産畜産業も含まれる！！
少量多品種・高品質、ハイマージンのものづくり
メンテナンス部門で世界的スタンダードを確保
こうした社会を構築するための教育大国化推進！！

小国なるも実は大国・スイス・イスラエル・シンガポールとの連携強化を推進。
技術を高め保持して、ものづくりの伝統を維持、世界に貢献して、その正当な対価としての外資を蓄え、オーストラリアなどと食の安確を確立、食糧自給率を高めるために、農地共同運営システムなどを構築して、自立化を推進することが最も重要である。

山椒は小粒でもぴりりと辛い、是々非々で世界にもものが言える、競争と協調が出来る大人の大国・倫理観の高い大国・日本を作ろう！！